

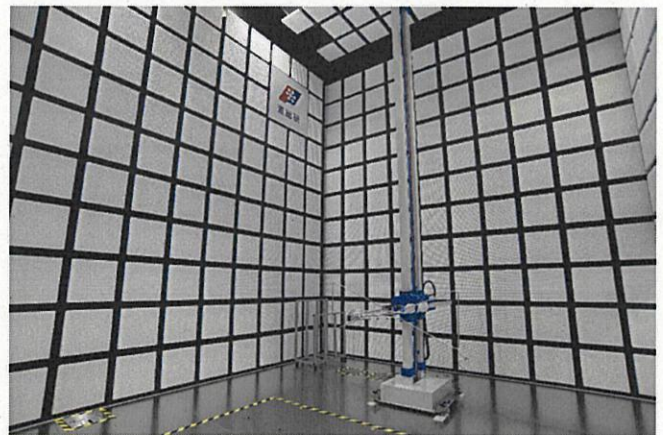
工業試験場に、新たな施設

2019.3.12
OPEN

「MONOLABO」が誕生！

道総研工業試験場では、道内企業が取り組む北海道の積雪寒冷な環境に対応するIoT関連製品等に係る新製品・新技術の創出を促進するため、国内新規格対応の電波暗室やシールドルーム、JIS規格の試験が可能な防水試験室を完備した「寒冷地ものづくりラボ (MONOLABO)」を整備し、平成31年4月から供用を開始しています。

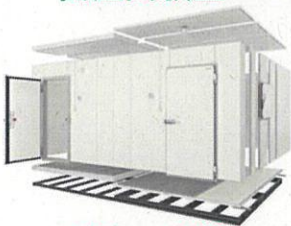
電波暗室・シールドルーム



道内初 3m法規格対応、VCCI認定8月取得予定
電磁ノイズ耐性試験、静電気、BCI、雷サージ等



低温試験室



+5℃～-20℃
-5℃～-30℃

防水試験室



JISC0920に対応

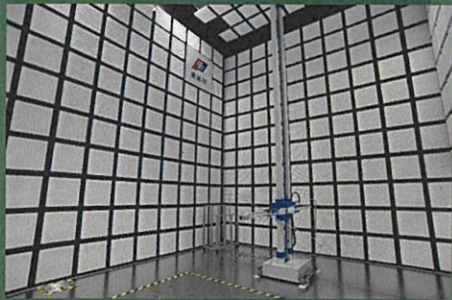
【寒冷地ものづくりラボ (MONOLABO) の概要】

- » 事業費 約5億48百万円 (うち地方創生拠点整備交付金2億74百万円)
(モノラボ建設(新築) 4億62百万円、モノラボ機器整備 37百万円、低温実験室(改修) 49百万円)
- » 施設規模 鉄筋コンクリート平屋建 約400㎡ (延べ床面積)
- » 主な機能 電波暗室 (3m法対応)、シールドルーム (2室)、防水試験室 (JISC0920対応)、低温試験室 (工業試験場研究棟に整備)

お問い合わせ
ご相談

(地独) 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター
〒060-0819 札幌市北区北19条西1丁目 TEL 011-747-2345 (直通)

MONOLABOの概要（導入機器等の紹介）



【設備名】 電波暗室・シールドルーム（2部屋）

【特 徴】 国際基準CISPR16を満たす道内初の3m法電波暗室VCCIなどの国内外の主要なEMC規格に対応。車載機器のノイズ評価(国際規格準拠)が可能。

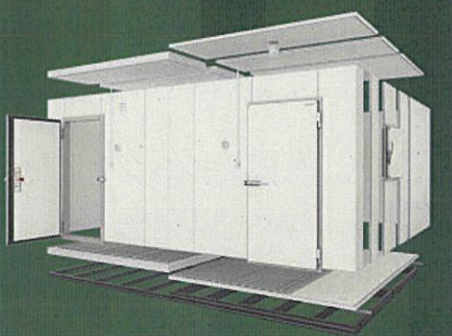
【用 途】 機器の電磁ノイズ発生量や耐性を評価。静電気、BCI(ハーネス)、雷サージ等の電磁ノイズの評価。



【設備名】 防水試験室

【特 徴】 道内初JIS規格(JISC0920)に対応。製品に対し、あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水(100ℓ/分)によっても防水(保護)されているかの評価が可能。

【用 途】 風雨にさらされる電子部品や、水を使う食品加工機械などの防水性を評価。



【設備名】 低温試験室（2部屋）

【特 徴】 低温環境下で機器動作が試験できる道内公設試験研究機関で唯一の施設。間口が広く(150cm)、大型の試験対象物にも対応可能。2種類（+5～-20℃、-5～-30℃）

【用 途】 製品の低温下での機器動作試験や、材料の衝撃、損傷試験や状態変化観察等が実施可能。

